

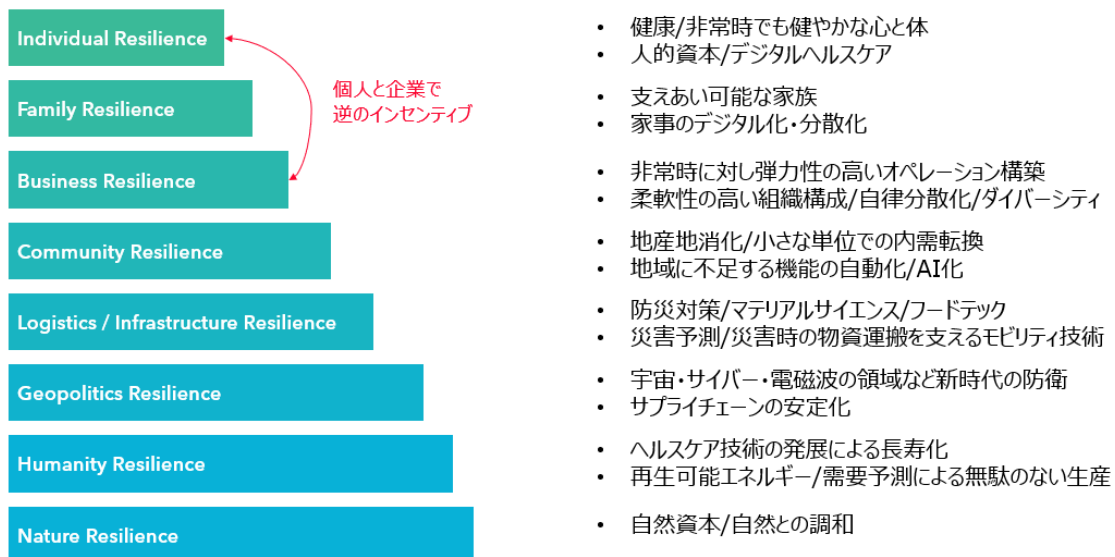
第 16 回新しい資本主義実現会議提出資料

令和 5 年 4 月 12 日

(株) シナモン 代表取締役 Co-CEO 平野未来

【レジリエンス観点での労働移動】

レジリエンスとは、さまざまな問題や困難に対処し、適応し続ける能力を持つという考え方。この考え方は、経済や社会が急速に変化し、予測が難しくなっている不確実性が高まる現代においてより重要度を増している。レジリエントな個人や組織は、困難な状況に直面しても柔軟に対応し立ち直る力を有している。



レジリエンスは自然や人類に起こる事象に広く適用が可能な概念であるが、労働移動の視点からは Individual Resilience（個人のレジリエンス）と Business Resilience（企業のレジリエンス）が重要と考える。

Individual Resilience（個人のレジリエンス）：

労働移動においては産業の変化に対処する力を指す。急速な経済の変化を背景に、従来の産業や職業が消滅し新たな産業が成長する産業循環が発生する。リ・スキリングし、個人のレジリエンスを持つことで、職を突然失うリスクにも対応でき、賃金を上げながら新たな成長産業への移行を円滑に進めることができる。

Business Resilience(企業のレジリエンス) :

急速な社会や技術の変化に対応し新たなビジネスモデルやサービスを創出しながら市場に柔軟に対応できる能力。観察 (Observe) 方向性決定 (Orient) 意思決定 (Decide) 実行 (Act) OODA ループを迅速に繰り返し BR を高めることが可能。加えて、社内での人材の役割や業務をローテーションさせて新陳代謝を促進することや、スキルアップ、キャリア開発などへの投資も強化に貢献する。またイノベーションやDXの推進によるビジネスモデル刷新や新サービス創出とも組み合わせて BR を高める戦略性が重要。環境や社会に対する (ESG) 活動もブランド価値や社会的信頼を向上させ、BR 強化につながる。

企業も個人もレジリエンスを持つことが理想的だが現状発展途上。

個人の「転職するのが不安、でも転職しながら給与を上げたい」というインセンティブと企業の「非効率なので既存の人材にやめてほしくない」などのインセンティブが相反しており、このベクトルを可能な範囲で合わせることが重要。

個人に対しては、以下の施策を実施し、転職するインセンティブを高め、給与も向上させることが望ましい。

- 成長産業へのリ・スキリング
個人が新しいスキルを習得し、成長産業に適応できるよう支援
- 転職先のマッチング
個人のスキルや経験に合った転職先を見つけるための支援を提供

企業に対しては、以下の施策を実施し、労働移動に対する逆インセンティブを減少させることが望ましい。

- 採用コスト
AIなどの技術を活用して効率的な採用プロセスを実現し、コスト削減を図る
- 教育コスト
ナレッジ AI を活用して効率的な知識・経験の共有を実現し、入社すぐの人材がすぐに戦力化できる状態を目指す
- 人間関係の構築
心理的安全性を高める施策を実施し、従業員間のコミュニケーションやチームワークを向上させる

【大規模自然言語モデル(LLM)】

- Open AI のサム・アルトマン CEO から日本関連の学習データのウェイトが引き上げられるなどの提案があり、より新しいサービスやスタートアップが生まれることが期待される。また、多言語展開が容易なため、グローバルな日本発スタートアップが誕生する可能性がある。スタートアップ施策に LLM の観点を取り入れることが重要。
- 既存のカスタマイズしやすいオープンソースの LLM に対して日本語のデータセットやファインチューニングを加える、政府が学習に必要なサーバ環境を支援し、海外 LLM への依存性を軽減するアーキテクチャの構築の検討をする必要がある
- 日本のデジタル収支は、海外クラウドサービスやネット広告の使用が大きくなり、2022 年には 4.7 兆円の赤字。海外 LLM の使用により更に赤字を大きくならないような形を模索する必要がある
- シナモン AI での実装からも以下のことが分かっており、政府内や国会答弁でもぜひ積極的に活用してほしい
 - 社内ドキュメントなどのプライベートデータを変換し、Chat GPT のインプットデータにすること、また変換前と結果のデータを掛け合わせることで機微情報の活用が可能
 - Llama や rinna などオンプレ対応、ファインチューニング対応している LLM もあり、他の自然言語技術と組み合わせることで高い精度を実現できるタスクもあり、かつ日々精度が高まっている
 - ※ファインチューニングとは、既に学習済のモデルに新たな層を追加し、モデル全体を再学習する手法であり、短時間で少ないデータでモデルの構築が可能
- 生命を創造できるのは神のみである、という宗教観が強い地域においては人口知能に対する拒否感があり、それがマトリックスやターミネーターのディストピア世界観につながっている。一方で、万物に生命や精神が宿る、またドラえもんや鉄腕アトムなど影響でロボットが友人であるという日本の文化的背景から、汎用 AI に対する受容度が高いというのが、アルトマン CEO が初の海外訪問に選んだ理由のひとつである。LLM の普及は避けられない事実であり、抗うことは難しい。積極的に国家戦略に組み入れていくことで世界に追いついていくチャンスではないか。